2009年５月15日発行

**特集：「子どもとケータイ（携帯電話）」**

子どもの携帯電話の所有状況は、小学６年生で24.7%、中学２年生で45.9%、高校２年生では、95.9%となっています。（｢子どもの携帯電話等の利用に関する調査｣文部科学省　平成21年２月25日速報より）子どもの生活に密着しているといえる携帯電話、しかし「学校裏サイト」｢出会い系サイト｣等問題になっています。

そこで、「青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律」が平成21年４月１日に施行され、携帯電話会社に、未成年への携帯電話提供の際フィルタリングサービスが義務付けられました。しかし、フィルタリングは完璧とは言えません。携帯電話は、コミュニケーションの道具であり、ネット社会につながる道具です。携帯電話が持つ特性をよく知り、使う際に求められるルール、モラルなど正しい使い方を子どもたちが学び、また、親子で家庭でのルールを話し合うことが必要なのではないでしょうか。子どもたちと携帯電話の世界を知るために、図書館に所蔵している資料を活用してください。

★図書

『[子ども白書](http://tosyokan.city.mishima.shizuoka.jp/cgi-bin/search?BOOK=ON&ITEM1=A&KEY1=%82%b1%82%c7%82%e0%82%cd%82%ad%82%b5%82%e5&COMP1=1&MAXVIEW=20&RTNPAGE=/search.shtml)』日本子どもを守る会編　草土文化

『[文部科学白書](http://tosyokan.city.mishima.shizuoka.jp/cgi-bin/search?BOOK=ON&ITEM1=A&KEY1=%82%e0%82%f1%82%d4%82%a9%82%aa%82%ad%82%cd%82%ad%82%b5%82%e5&COMP1=1&MAXVIEW=20&RTNPAGE=/search.shtml)』『[青少年白書](http://tosyokan.city.mishima.shizuoka.jp/cgi-bin/search?BOOK=ON&ITEM1=A&KEY1=%82%b9%82%a2%82%b5%82%e5%82%a4%82%cb%82%f1%82%cd%82%ad%82%b5%82%e5&COMP1=1&MAXVIEW=20&RTNPAGE=/search.shtml)』

『[学校裏サイト](http://tosyokan.city.mishima.shizuoka.jp/cgi-bin/detail?NUM=001518113&CTG=1&RTN=01&SID=000322806&RTNPAGE=/search.shtml)－ケータイ無法地帯から子どもを救う方法－』下田博次著　東洋経済新報社　2008.4

携帯電話は「思春期メディア」と著者は呼ぶ。まともな大人たちから見えにくい子どもたちのネットでの行動とその遊び場の構造を解説し、問題の解決策を示す。

『[ケータイ世界の子どもたち](http://tosyokan.city.mishima.shizuoka.jp/cgi-bin/detail?NUM=001534385&CTG=1&RTN=01&SID=000322807&RTNPAGE=/search.shtml)』藤川大祐著　講談社　2008.5

　　携帯電話は、子どもたちのさまざまな問題とつながっている。家庭、学校、携帯電話会社の取組む方法を考える。

『[「ケータイ・ネット時代」の子育て論](http://tosyokan.city.mishima.shizuoka.jp/cgi-bin/detail?NUM=001498554&CTG=1&RTN=01&SID=000322808&RTNPAGE=/search.shtml)－時代の波に流されない力－』尾木直樹著　新日本出版社　2008.1

『[大人が知らないネットいじめの真実](http://tosyokan.city.mishima.shizuoka.jp/cgi-bin/detail?NUM=001554681&CTG=1&RTN=01&SID=000322809&RTNPAGE=/search.shtml)』渡辺真由子著　ミネルヴァ書房　2008.7

『[大人が知らない携帯サイトの世界](http://tosyokan.city.mishima.shizuoka.jp/cgi-bin/detail?NUM=001457031&CTG=1&RTN=01&SID=000322811&RTNPAGE=/search.shtml)－ＰＣとは全く違うもう１つのネット文化－』佐野正弘著　毎日コミュニケーションズ　2007.9

　　携帯コンテンツ開発者から見た携帯電話の世界。

『[ケータイを持ったサル](http://tosyokan.city.mishima.shizuoka.jp/cgi-bin/detail?NUM=000876641&CTG=1&RTN=01&SID=000322812&RTNPAGE=/search.shtml)－「人間らしさ」の崩壊－』正高信男著　中央公論新社　2003.9　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　サル学の専門家が、ヒトの脳の外部化による思考の衰退、家族の崩壊を解説。

『[子どもとケータイ](http://tosyokan.city.mishima.shizuoka.jp/cgi-bin/detail?NUM=001550063&CTG=1&RTN=01&SID=000322813&RTNPAGE=/search.shtml)－Ｑ＆Ａで学ぶ正しいつきあい方－』モバイル社会研究所監修　遊橋裕泰〔ほか〕著　宮島理〔ほか〕著　リックテレコム　2008.9

★雑誌　　　「[児童心理](http://tosyokan.city.mishima.shizuoka.jp/cgi-bin/search?MAGAZINE=ON&ITEM1=A&KEY1=%82%b6%82%c7%82%a4%82%b5%82%f1%82%e8&COMP1=1&MAXVIEW=20&RTNPAGE=/search.shtml)」、「[教育ジャーナル](http://tosyokan.city.mishima.shizuoka.jp/cgi-bin/search?MAGAZINE=ON&ITEM1=A&KEY1=%82%ab%82%e5%82%a4%82%a2%82%ad%82%b6%82%e1%81%5b%82%c8%82%e9%0d%0a&COMP1=1&MAXVIEW=20&RTNPAGE=/search.shtml)」、「[ファミリス](http://tosyokan.city.mishima.shizuoka.jp/cgi-bin/search?MAGAZINE=ON&ITEM1=A&KEY1=%82%d3%82%9f%82%dd%82%e8%82%b7&COMP1=1&MAXVIEW=20&RTNPAGE=/search.shtml)」

★関連するホームページ

「文部科学省」　　<http://www.mext.go.jp/>

「青少年育成（インターネット利用環境整備）」（内閣府）　<http://www8.cao.go.jp/youth/youth-harm/index.html>

「インターネット協会（財）」<http://www.iajapan.org/>



図書館のおしごと紹介

本が書棚に並ぶまで②「受入」

前号で紹介した「発注」の後、図書が納品されると、速やかに「受入」の作業をします。

まず、原簿（納品書）と図書を照合し、価格を確認し、本に落丁・乱丁がないかを見ます。

　次に、図書の書誌データと蔵書データの登録、修正や確認をします。この時、特に郷土（三島や静岡県内）に関する図書は、司書が、書名等だけでなく、内容を細かく入力しています。検索した時できるだけヒットする（みつかる）ように心がけています。

　その後、蔵書印を押す、付録の地図などをつける、ﾌｨﾙﾑｺｰﾄをかける、などの装備をします。これら一連の作業を終えて、やっと新着コーナーなどの書棚に並びます。できるだけ早く、確実に出せるように努力しています。

* 書誌ﾃﾞｰﾀとは、図書自体のﾃﾞｰﾀ（ﾀｲﾄﾙ・著者・出版社・出版年等のﾃﾞｰﾀ）。
* 蔵書ﾃﾞｰﾀとは、図書館における１冊ごとのﾃﾞｰﾀ（所蔵館・請求記号・購入価格等のﾃﾞｰﾀ）。

“

**「レファレンス　サービス」とは？**

司書が、あなたの調べたいことについて、資料や情報を探して紹介したり、調査法などの相談に応じるサービスです。

レファレンス事例　― **”統計をさがす”**

過去10年間の国内失業率の推移を知りたい。

**＊回答＊**

『日本統計年鑑』に掲載されている、「完全失業率と有効求人倍率の推移」の図を参照。

**＊調査過程＊**

様々な統計書のうち、広範な分野にわたる基本的な統計を、網羅的かつ体系的に収録したものとして、総務省統計局編集の『日本統計年鑑』があり、各分野別の目次、巻末に事項別索引が掲載されています。

1. 索引を使ってキーワードの選定をします。

「失業率」で索引をみると、失業者（国別）はありますが探している統計とは違います。そこで、「就職」で索引をみると「従業員数」、「就職希望者」、「就職率」などの記載があります。

②「就職希望者」、「就職率」の記載箇所が近いことから、該当箇所の確認をしていくと、「完全失業率と有効求人倍率の推移」の10年間分のグラフがみつかります。

**（＠ｏ＠）！**

**Googleを使った『日本統計年鑑』の検索方法**

『日本統計年鑑』は総務省統計局のホームページ上でも公開されています。ただし、索引が公開されていないため、検索にはGoogleを使うと便利です。

検索ワードに「失業率　site:http://www.stat.go.jp/data/nenkan」と入力して検索。

上記の失業率の部分に他のキーワードを入力すると、他の統計を調べることができます。

今月のピックアップー新着資料から

なぜ「餃子で町おこし」はこれほど成功したのか。

市職員の主導で始まった企画が市民のボランティアと融合して発展していった『宇都宮餃子』プロジェクト。その成功を検証し、「町おこし」成功のキーワードを明らかにする。

今ではあたりまえになった「Ｂ級グルメで町おこし」だが、なかでも『宇都宮餃子』はその先駆けとして知られる。

きっかけは、宇都宮市内の餃子消費量が日本一、という豆知識レベルの平凡なデータだった。成功の秘訣は、それを「町おこし」につなげたアイデアの先駆性と個々人の熱意、そして運とタイミングを逃さなかったことではないだろうか。

持ち出し覚悟で企画にのった店主たち。熱意だけで周囲を巻き込んでいった市の職員。平易な文章がかえって、その場に居合わせたかのような臨場感を醸し出している。

『[秘訣は官民一体ひと皿２００円の町おこし](http://tosyokan.city.mishima.shizuoka.jp/cgi-bin/detail?NUM=001610587&CTG=1&RTN=01&SID=000320756&RTNPAGE=/search.shtml)

―　宇都宮餃子はなぜ日本一になったか　―』

五十嵐幸子著　　小学館



**図書館は、三島市職員向けにメールマガジンを発行しています。**

**ご意見・ご質問は図書館本館へ。電話９８３－０８８０（内線６３８９）**

<http://tosyokan.city.mishima.shizuoka.jp/>

**図書館は、隔月15日に、三島市職員向けにメールマガジンを発行します。**

**ご意見・ご質問は図書館本館へ。電話９８３－０８８０（内線６３８９）**

<http://tosyokan.city.mishima.shizuoka.jp/>